

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 26年												平成 27年												平成28年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~10日	1月 ~17日
カンピロバクター	88	76	99	111	317	231	172	180	153	151	118	98	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	27 (33)	12
病原性大腸菌	104	69	71	83	113	99	81	62	68	71	161	207	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	43 (54)	33
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	0	1	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	9	5	3	10	13	28	13	15	2	0	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	3 (5)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	24	9	2	13	27	20	24	34	37	20	21	28	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	5 (9)	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	11	5	10	9	14	20	13	12	12	9	11	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	1 (4)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	0	1	2	4	2	0	0	1	2	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0
ロタウイルス	1	3	2	7	4	1	0	0	0	0	1	1	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1
アデノウイルス	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	1	1
ノロウイルス	151	71	68	29	5	5	0	0	0	1	0	53	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8	5

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第2週(1月11日~1月17日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5					2	2	1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	A型肝炎	1					1		
		レジオネラ症	1							1
五類全数	5	侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		播種性クリプトコックス症	1		1					
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第2週 1/11~1/17)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

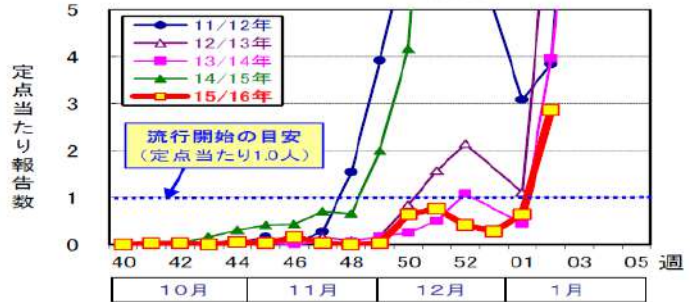
1. インフルエンザ

定点医療機関からの報告数が、103人(定点当たり2.86人、迅速診断キット:A型陽性48人、B型陽性55人)と、前週の約4.5倍に急増しました。流行開始の目安である定点当たり1.0人を上回り、インフルエンザが流行入りしたと考えられます。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第2週に2件、第3週も1月19日時点で7件の報告があり、今シーズンの累計は10件となりました。(速報値) インフルエンザは、例年流行が始まると急激に患者が増加します。

今後、本格的な流行が予想されるため、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	103	2.86	11.91	↑	小児科	流行性耳下腺炎	25	1.09	0.70	↔
小児科	咽頭結膜熱	17	0.74	0.52	↔	眼科	RSウイルス感染症	12	0.52	0.60	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	2.43	1.47	↔		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	↔
	感染性胃腸炎	153	6.65	11.85	↔	基幹	流行性角結膜炎	6	0.75	0.73	↔
	水痘	11	0.48	1.68	↔		細菌性髄膜炎	-	-	-	↔
	手足口病	1	0.04	0.24	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	↔
	伝染性紅斑	37	1.61	0.08	↔		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.34	↔
	突発性発しん	10	0.43	0.49	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↔
	百日咳	-	-	0.04	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	-	↔
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02	↔						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	7	女性(30歳代)・1人・推定感染地域: 国外、女性(60歳代)・1人・推定感染地域: 国外
4	A型肝炎	1	1	男性(20歳代)・市外
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(20歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	男性(60歳代)
5	梅毒	1	2	女性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(38.0) 上気道炎	2	男	2015/12/05	咽頭拭い液	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(40.0) 上気道炎	1	女	2015/12/03	咽頭拭い液	RSウイルス
RSウイルス感染症	下気道炎 気管支炎 嘔き気	0	男	2015/12/04	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(39.0) 気管支炎	13	男	2015/12/06	咽頭拭い液	RSウイルス
RSウイルス感染症	気管支炎	0	女	2015/12/07	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(39.4) 気管支炎	1	男	2015/12/08	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(38.0) 細気管支炎	0	男	2015/12/10	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(39.0) 気管支炎	0	不詳	2015/12/10	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(38.6) 細気管支炎	0	女	2015/12/11	鼻汁	RSウイルス
急性脳炎	発熱(41.8) 嘔き気 下痢 脳炎 熱性痙攣	1	女	2015/12/10	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.4) 気管支炎	0	女	2015/11/29	咽頭拭い液	エンテロウイルス68型
その他の消化器疾患	腸重積	1	女	2015/10/25	糞便	アデノウイルス3型
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢	0	女	2015/12/15	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	不詳	0	男	2015/09/03	咽頭拭い液 糞便 尿	コサッキーウイルスB4型 コサッキーウイルスB5型